

事務事業実績測定調書

R5調書番号 35

事務事業名称	公共下水道(雨水)整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名		1-3.水施策の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1958(S33)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	下水道法、都市計画法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道排水区域内の市民			
	サブターゲット	公共下水道排水区域内の事業者			
	ターゲットが抱える課題	降雨による浸水被害の発生。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	雨水計画に基づき、浸水被害が軽減されている状態。				
事業概要	公共下水道排水区域(寝屋川北部流域関連3排水区、淀川左岸流域関連18排水区)の住民を対象に、排水施設の整備を図り、浸水被害の軽減を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		浸水被害が軽減される。	排水施設の整備を図られる。	雨水計画事業を進捗する。
指標設定	指標説明	想定される浸水被害の減少数 [参考:R1想定件数 2,382件]	各年度における雨水計画進捗率 【算出式:施工延長/計画延長×100】	雨水管渠等を整備した施工延長
		単位 件	単位 %	単位 m
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	157 50 49 49	100 100 100 100	1,120 360 350 350
	実績	16 14 34 122	10 27 70 248	113 97 246 869
	達成度	249%	248%	248%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	7.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	77,241	68,920	55,265		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	77,241	68,920	55,265		
歳入	物件費計	1,146,921	1,584,184	1,015,041	1,829,961	55.5%
	歳出計	1,224,162	1,653,104	1,070,306		
	国庫支出金	464,000	583,622	365,340	365,340	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	268,300	125,400	89,800	199,400	
	その他	34,432	99,786	50,743	50,743	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	766,732	808,808	505,883	615,483	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		380,189	775,376	509,158	1,214,478	

5. 総括的分析

総括的分析	過年度に完成予定であった事業が完成したことにより、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	下水道整備基本計画及び下水道事業経営戦略の方針に基づき整備を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 118

事務事業名称	公共下水道(汚水)改良事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができていますまち									
	実行計画名	1-3.水施策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称	防災・安全交付金		サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	下水道施設を利用している市民			
	サブターゲット	下水道施設を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	下水道施設の円滑な利用受益の阻害。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	道路陥没の未然防止や雨天時などにおける汚水管への侵入水防止、管路の耐震化に向け、枚方市下水道整備基本計画に基づき、管路の点検・調査を実施し、汚水管渠の老朽化、耐震化対策として改築等を進める。また、都市計画事業等による支障移転についても実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		改築計画を作成した管路の改築が完了する。				点検・調査結果を基に改築等が必要な管路を把握し、改築計画を作成する。				ストックマネジメント計画に基づく改築等を進める管路施設を把握するため、点検・調査を実施する。				
指標設定	指標説明	改築計画距離に対する改築距離の割合 【算出式:改築距離 ÷ 改築計画距離 × 100】				改築計画作成対象距離				調査実施管路距離				
		単位	%											単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	0	0	0	0	0	0	17	4.1	4.3	8.6	1.2
		実績	0	0	0	0	0	0	17	0	3.6	4.3	9.2	1.2
達成度	0%				0%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	5.86
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	48,958	49,372	46,265		
	会計年度任用職員	1,755	1,407	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	50,713	50,779	46,265		
歳入	物件費計	249,116	345,647	427,541	991,095	43.1%
	歳出計	299,829	396,426	473,806		
	国庫支出金	32,300	27,250	64,100	97,750	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	7,106	0	0	0	
	市債	111,600	152,500	220,200	538,200	
	その他	24,619	39,632	45,603	84,169	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	175,625	219,382	329,903	720,119	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		73,491	126,265	97,638	270,976	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市下水道ビジョンに基づき、老朽化対策について、管路の点検・調査を実施し、令和4年度に緊急度判定を行い、改築工事が必要となった路線について実施設計を行った。さらに令和3年度に実施設計を行った管路について、改築工事を行った。また、都市計画道路整備及び連続立体交差事業に伴う支障移転を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も枚方市下水道ビジョンに基づき管路の点検・調査を実施し、汚水管渠の老朽化、耐震化対策として改築等を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 146

事務事業名称	公共下水道(汚水)整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名	26-2.上水道及び生活排水の適正処理の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1958(S33)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	下水道法 都市計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道が整備できていない地域の市民・事業者			
	サブターゲット	公共下水道が整備できていない地域の汚水排水が流れ込む淀川水系に生活する住民・事業者			
	ターゲットが抱える課題	公共下水道が整備されないことにより、都市基盤が整備されていない、あるいは淀川水系の水質汚濁が生じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	公共下水道の整備により汚水と雨水が別々に処理されることで、都市基盤整備及び淀川水系の水質汚濁防止が出来ている状態。				
事業概要	生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、下水道の普及を促進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）							
		下水道の普及が促進される。				公共下水道が整備される。				計画に則り、工事・委託発注を行う。							
指標設定	指標説明	公共下水道普及率				発注した工事・委託の完成率				工事・委託の発注率							
	単位		%		単位		%		単位		%						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 （見込み）		97.1	97.5	97.6	97.6	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		実績		97.4	97.5	97.6	97.8	83	80	100	100	100	100	100	100	100	
達成度		100%				100%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.84
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	40,450	39,025	38,212		
	会計年度任用職員	1,436	1,105	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	41,886	40,130	38,212		
歳入	物件費計	285,594	269,543	344,818	489,189	70.5%
	歳出計	327,480	309,673	383,030		
	国庫支出金	30,000	29,500	15,000	15,000	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	4,691	3,687	889	
	市債	220,100	222,200	301,300	305,600	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	250,100	256,391	319,987	321,489	
一般財源（物件費に充当されるもの）		35,494	13,152	24,831	167,700	

5. 総括的分析

総括的分析	生活環境の改善や河川水質保全のため、公共下水道の整備完了に向けて、下水道(汚水)整備を推進。(整備人口普及率97.8%)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	整備済み区域内に点在する未承諾地区や整備困難地区などの未整備地区の解消に取り組みます。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 892

事務事業名称	下水道整備課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管事務が適切かつ効率的に執行されている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,564	15,798	18,159		
	会計年度任用職員	1,169	0	2,544		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,733	15,798	20,703		
	物件費計	1,724	1,235	1,867	2,978	62.7%
歳出計		18,457	17,033	22,570		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,724	1,235	1,867	2,978	

5. 総括的分析

総括的分析	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務の執行や公用車の維持管理を適切に行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、円滑な事務執行に努めていく。